



# 学校だより

沖縄県立  
大平特別支援学校

TEL098-877-4941

令和6年10月1日発行

発行責任者 古我知 博樹

FAX098-876-4148

学校ホームページ [www.ohira-sh.open.ed.jp/](http://www.ohira-sh.open.ed.jp/)

## 教育目標

- ・健康でたくましく心豊かな人
- ・自分のことは自分で出来る人
- ・目標を持って粘り強くやり抜く人
- ・楽しく働き社会に貢献できる人

## 継続は力なり・・・自力通学について考えること

本校小学部、中学部、高等部で許可する通学（登下校）方法として、スクールバスや保護者送迎・事業所送迎の他に、児童生徒の実態に応じて、自力通学（徒歩、路線バス、自転車など）があります。全ての通学方法は保護者の申請により可能と判断された場合に許可する仕組みです。路線バスの利用は、通学にかかったバス運賃が申請によって就学奨励費の段階に関わらず、全額支給される仕組みがあります。

本校では、11月5日（火）から11月15日（金）に後期の「自力通学サポート」期間を設定しております。

自力通学は、一般就労を検討されている場合、もしくは高等支援学校を志願する場合は、両方のケースにおける前提条件となります。登下校をはじめ自分の力で行動することを広げていくことは、社会の中で共生していく重要な取り組みのひとつです。

もちろん、求められる実態は、安全確認や危険回避ができることから始まります。その実態の上に家庭や学校での指導をとおして、行動経路や位置関係の把握ができる、他者への質問やお願いなど一定のコミュニケーションがとれる、公共施設や公共物を適切に利用できる、天候や交通状況の急変など不測の事態に対応できる、などなど様々な力が複合的に要求されハードルが高いように感じます。

しかし、これらの力は一朝一夕につくものでもなく、就業体験活動（インターンシップ）の時に即実行できるものでもありません。雨の日も風の日もカンカン照りの日も継続してこそ能動的に行動していく力が培われて就職や進学や社会生活の中で生きてきます。その培われた力を前提としながら、毎日の生活の合理性から保護者送迎を行うことは現実問題としてありとを考えます。

お子様の実態を踏まえ、自力通学を希望する児童生徒・保護者はまず担任の先生と相談されてください。

なお、校則で原則禁止ですが、アルバイトや運転免許の取得は就職を目的とする場合、生徒・保護者の申請により、授業をはじめとする学校生活に支障のない範囲で許可しておりますので、希望する生徒・保護者は担任の先生と相談されてください。ただし、免許取得後の通学に係る運転は認めておりません。

## 主な行事予定（10月）

- |   |   |
|---|---|
| 1日（火）授業参観2～3校時（中）<br>理科校外学習（高2・3）   | 9日（水）社会見学（中1・2）   |
| 2日（水）スクールカウンセラー来校（午前）<br>運動会リハーサル（小）<br>授業参観（高）2・3校時<br>（※実習予定企業・事業所向け）   | 10日（木）修学旅行事前検診（中3）13:50～<br>11日（金）運動会（小）※午前実施 午後は通常日課<br>昭和薬科との交流学习①（中1）<br>後期就業体験実習壮行会（高）<br>修学旅行保護者説明会（高）16:00～ |
| 3日（木）公開授業（中）13:30下校（小・高）<br>15:25下校（中）  | 14日（月）スポーツの日  |
| 4日（金）後期就業体験実習保護者説明会（高）<br>（多目的ホール 10:00-10:30）<br>（体育館 13:20-14:20）<br>後期就業体験実習事前学習（5校時）（高）<br>後期就業体験実習事業所挨拶（6校時）（高）<br>福祉サービス利用手続き説明会（高）<br>授業参観日 2～4校時（高） | 15日（火）後期就業体験実習（高）～10/25<br>16日（水）陽明・琉りハとの交流学习②（中2）<br>18日（金）修学旅行保護者説明会（小6）<br>食育の日・かみかみの日                         |
| 7日（月）志願前相談（高）～11日（金）<br>体重測定週間（～10/16）  | 23日（水）校外学習（小4・6）<br>修学旅行（中3）～10/25<br>25日（金）昭和薬科との交流学习（中1）<br>28日（月）後期就業体験実習事後学習（高）                               |



## 小学部

### 読書の秋～読書月間がスタート～

9月9日(月)～10月18日(金)までの期間、読書月間に取り組んでいます。

小学部では、図書館で好きな本選ぶ姿、先生の読み聞かせを楽しむ姿、友達と一緒に本を読む姿、読書感想画に取り組む姿など、様々な子ども達の姿が見られます。

たくさんの本と出会い、本の世界観にわくわく。まさに、読書の秋にふさわしい学校の雰囲気です。

ぜひお家でも、お子さんが学校でどんな本を読んでいるのか、お話してみてください♪



## 中学部

### へいわのうた

2学期がスタートしだんだん学校生活に慣れてきた様子の中学部のみなさん。久しぶりに会う友達と楽しそうに過ごしながら、これからある交流学习や校外学習などの行事に向けて準備等を頑張っています。

そんな中学部のワークスペースには「へいわのうた」が掲示されています。1学期に平和月間で取り組んだ「自分にとっての平和」をまとめ、みんなが思う「平和」を集めた詩です。

「へいわって ともだちのこえ」

「へいわって あたたかい」

「へいわって てをつなぐこと」

中学部ワークスペース壁面に掲示していますので、来校された際にはぜひご覧下さい。



## 高等部

### 進路講話



9月13日(金)に2名の卒業生に来校していただいて「働くうえで大切なこと」と題してお話を聞きました。

一般就労したA先輩は、「丁寧な言葉遣いを意識している。接客では言葉遣いは大切である」と伝え、仕事で楽しいことは「期間限定の商品の品出し作業が楽しみ」と仕事の様子も垣間見えました。高等部在学中は、漢字検定や書き初めコンクール、技能検定、就業体験発表にも意欲的に取り組み、普段の学校生活を大切に過ごしていたことも参考になる話でした。

就労移行制度を利用して訓練に通っている先輩Bさんは「就職先の商品を大切に扱うことに繋がるので、今から物を雑に扱うのではなく大切に」「読み書き計算に繋がるので、今できる国語と数学の勉強はしておこう。社会人になっても勉強は続く」と卒業して感じたことを自分の言葉で伝えてくれました。

卒業生から話を聞くことで、高等部生活で取り組むことの大切さや卒業後の生活を具体的にイメージする良い機会となりました。

## 寄宿舎

### 『2学期もがんばるぞ!』

長い夏休みを終え、久しぶりの寄宿舎生活ですが、日課の流れを思い出しながらスムーズにスタートを切りました。心身や生活リズムを整え生活する中、早速“学習会”もスタート。生活を豊かにする知識や技術、コミュニケーション力の向上を目指す学びを積み重ねています。

### 『自立の部屋』

寄宿舎の2階には“生活実習室”があり、1LDKの部屋を活用した『自立の部屋』という活動があります。卒業後の一人暮らしやグループホームを想定して、買い物や調理をはじめ、自分でスケジュールを組み立てて生活する練習をします。1学期に引き続き、2学期も『自立の部屋』にチャレンジする舎生がたくさんいます。目標を持ってしっかり頑張ってください！

### 『保護者会』

6日は保護者会が開かれ、寄宿舎教育の内容や舎生の様子の紹介、保護者・職員交えての茶話会など有意義な時間を持つことができました。



<自立の部屋>



<洗濯学習会の様子>



<保護者会の様子>